

1. 物品ごとの芽胞の不活化法

野生動物由来の皮及びトロフィー	骨粉及び肉骨粉	羊毛その他の毛	堆肥、糞及び寝藁	液肥（スラリー）
<p>(1)から(3)のいずれかの処理をすること。</p> <p>(1)500ml/Lのエチレンオキシドによる55℃、30分間、湿度20-40分間の燻蒸</p> <p>(2)400mg/m³のホルムアルデヒドによる15℃を超える温度で4時間、湿度30%の燻蒸</p> <p>(3)40kGyのガンマ線照射</p>	<p>(1)及び(2)を満たすこと。</p> <p>(1)加熱前の原料の粒子サイズが最大で50mmであること。</p> <p>(2)133℃以上、20分以上、3気圧の湿熱処理又はそれと同等の処理がされていること。</p>	<p>(1)から(5)までの過程の処理を行うこと。</p> <p>(1)0.25-0.3%の炭酸ナトリウム液に40.5℃、10分間浸漬</p> <p>(2)石けん液に40.5℃、10分間浸漬</p> <p>(3)2%のホルムアルデヒド溶液に40.5℃、10分間の浸漬</p> <p>(4)2%のホルムアルデヒド溶液に40.5℃、10分間の2回目の浸漬</p> <p>(5)冷水洗浄、その後熱風乾燥</p>	<p>(1)又は(2)のいずれかの処理をすること。</p> <p>(1)少量ずつの焼却</p> <p>(2)10%ホルムアルデヒド又は4%グルタルアルデヒドを1-1.5L/m³を混合し、攪拌しながら5週間置き、さらに5週間放置することにより、堆肥化する。</p>	<p>(1)又は(2)によりホルマリンにより毎日1時間攪拌しながら消毒する</p> <p>(1)乾燥原料が5%までのスラリーは、50kg/m³のホルマリンで4日間</p> <p>(2)乾燥重量が5%を超え10%までのスラリーは、50kg/m³のホルマリンで4日間</p>

2. 施設の消毒方法

炭疽菌に汚染された畜舎及び建物の表面	炭疽菌に汚染された部屋
<p>(1)10%ホルムアルデヒド又は4%グルタルアルデヒドを1-1.5L/m³の割合で使用した2時間の予備消毒</p> <p>(2)豊富な水で洗浄及びひっかき、その後乾燥</p> <p>(3)0.4L/m³の割合10%ホルムアルデヒド、4%グルタルアルデヒドもしくは1%過酢酸を1時間ごとに繰り返し使用して又は3%過酸化水素を使用して2時間消毒する。</p> <p>(注)ホルムアルデヒド及びグルタルアルデヒドは、10℃以上使用してはならない。過酸化水素及び過酢酸は血液の存在下では適さない。</p>	<p>(1)すべての窓、ドア及び換気口をシールする。</p> <p>(2)30 m³までの部屋の場合には、400mlのホルマリンを加えた4Lの水をやかんに入れて煮沸蒸発させ、そのまま一夜放置する。室温は15℃を超えていなければならない。</p>